T&D
T&D保険グループ

交付運用報告書

# エマージング債券投信（南アフリカランドコース）毎月分配型

商品分類（追加型投信／海外／債券）

## 受益者の皆様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「エマージング債券投信（南アフリカランドコース）毎月分配型」は、第174期から第179期の決算を行いました。

当ファンドは外国投資信託「エマージング・マーケット・デット・ファンド・クラスZAR（毎月分配型）」を通じて、米ドル建のエマージング債券を主要投資対象として、高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。また、外国投資信託は米ドル売り／南アフリカランド買いの為替取引を行います。当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともより一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

## 第30作成期

第174期（2024年６月10日）　第177期（2024年９月10日）
第175期（2024年７月10日）　第178期（2024年10月10日）
第176期（2024年８月13日）　第179期（2024年11月11日）

作成対象期間：2024年５月11日～2024年11月11日

| 第179期末（2024年11月11日） | |
|---|---|
| 基準価額 | 2,736円 |
| 純資産総額 | 86百万円 |
| **第174期～第179期** | |
| 騰落率 | 8.4% |
| 分配金合計 | 90円 |

（注）騰落率は収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

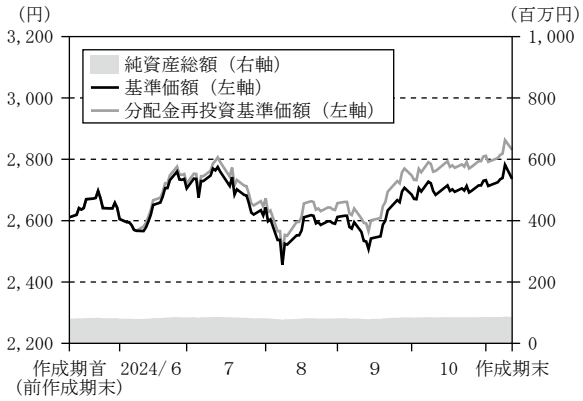
当ファンドは、約款において運用報告書（全体版）を電子交付することが定められています。運用報告書（全体版）については下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

＜閲覧方法＞
右記ＵＲＬ⇒ファンド情報⇒当ファンド名を選択⇒各種資料のダウンロード⇒「運用報告書（全体版）」を選択

T&Dアセットマネジメント株式会社
〒108－0014　東京都港区芝５－36－７
お問い合わせ先
投信営業部 03-6722-4810
（受付時間：営業日の午前９時～午後５時）
https://www.tdasset.co.jp/

# 運 用 経 過

## 基準価額等の推移




第174期首：2,611円
第179期末：2,736円（既払分配金90円）
騰　落　率：8.4%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2024年５月10日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

## 基準価額の主な変動要因

主に外国投信「エマージング・マーケット・デット・ファンド・クラスZAR（毎月分配型）」へ投資した結果、南アフリカランドが対円で上昇したことや債券運用によるリターンがプラス寄与し、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

### ■ 組入ファンドの当作成期中の騰落率

| 組入ファンド | 騰落率 |
|---|---|
| エマージング・マーケット・デット・ファンド・クラスZAR（毎月分配型） | 9.4% |
| Ｔ＆Ｄマネープールマザーファンド | 0.0 |

## １万口当たりの費用明細

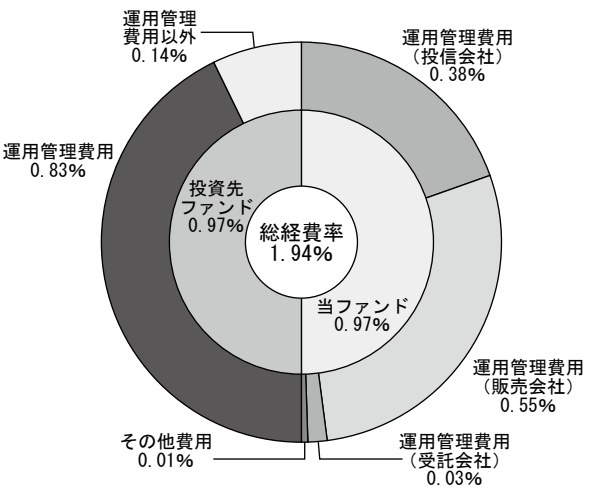
| 項目 | 第174期～第179期<br>2024/５/11～2024/11/11 | | 項目の概要 |
|---|---|---|---|
| | 金額 | 比率 | |
| 平均基準価額 | 2,663円 | | 作成期間の平均基準価額です。 |
| (a) 信託報酬 | 13円 | 0.491% | (a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率 |
| （投信会社） | ( 5) | (0.195) | 委託した資金の運用の対価 |
| （販売会社） | ( 7) | (0.279) | 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 |
| （受託会社） | ( 0) | (0.017) | 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価 |
| (b) その他費用 | 0 | 0.007 | (b)その他費用＝作成期間のその他費用／作成期間の平均受益権口数 |
| （監査費用） | ( 0) | (0.007) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 |
| 合計 | 13 | 0.498 | |

（注）作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。
（注）各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）が支払った費用を含みません。
（注）「比率」欄は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

### （参考情報）

### ■ 総経費率

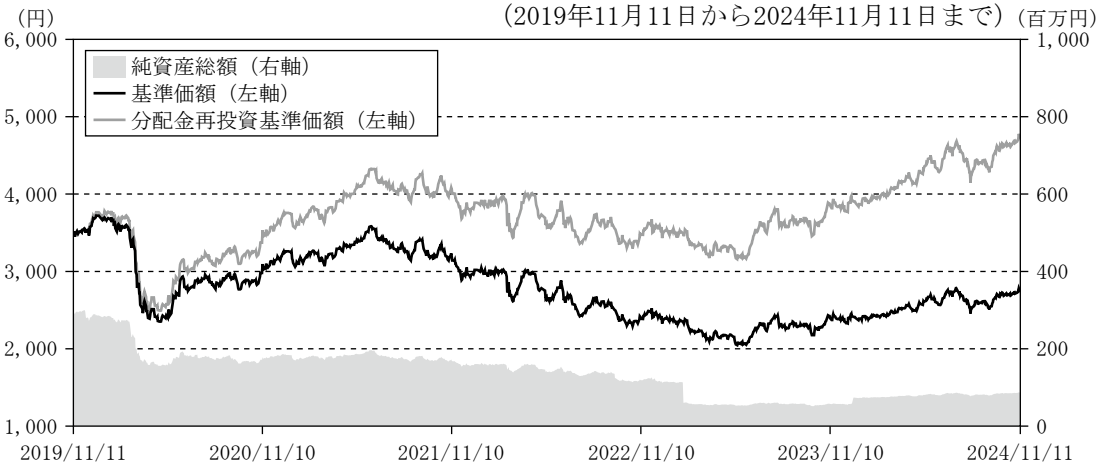
当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は、1.94%です。




| | |
|---|---|
| 総経費率（①＋②＋③） | 1.94% |
| ①当ファンドの費用の比率 | 0.97% |
| ②投資先ファンドの運用管理費用の比率 | 0.83% |
| ③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率 | 0.14% |

（注）①の費用は、１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）です。
（注）①の費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近５年間の基準価額等の推移




（注）分配金再投資基準価額は、2019年11月11日の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

| | 2019年11月11日<br>期初 | 2020年11月10日<br>決算日 | 2021年11月10日<br>決算日 | 2022年11月10日<br>決算日 | 2023年11月10日<br>決算日 | 2024年11月11日<br>決算日 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 基準価額（分配落）　（円） | 3,505 | 3,095 | 3,183 | 2,390 | 2,396 | 2,736 |
| 期間分配金合計（税込み）（円） | － | 400 | 360 | 360 | 225 | 180 |
| 分配金再投資基準価額の騰落率（%） | － | 0.8 | 14.8 | △ 14.2 | 10.7 | 22.5 |
| 純資産総額　（百万円） | 292 | 178 | 169 | 118 | 57 | 86 |

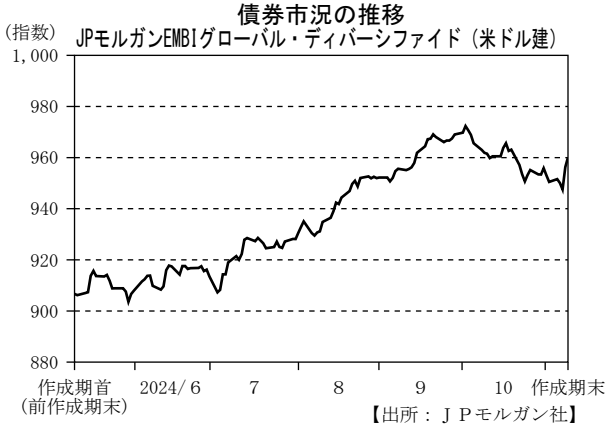
（注）当ファンドは、特定の指数に連動すること・指数を上回ることを目的として運用していないため、また、運用方針に対し適切な指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## 投資環境

### ■ エマージング債券市場

当作成期の米ドル建てエマージング債券市場（参照指標：ＪＰモルガンＥＭＢＩグローバル・ディバーシファイド）は上昇し（米ドルベース、以下同じ）、米国債に対するスプレッド（利回り格差）は縮小しました。また、現地通貨建てエマージング債券市場も上昇しました。米ドル建てエマージング債券市場は、米国でインフレの鈍化傾向が確認され米長期金利が低下したことやＦＲＢ（米連邦準備制度理事会）が大幅利下げを決定したことなどを背景に、作成期の大半を通じて上昇基調で推移しました。作成期末にかけては、中東情勢を巡る不透明感が意識されたほか、堅調な米景気を背景に利下げペースが鈍化するとの見方が強まり、米長期金利が上昇するなかで軟調に転じました。エマージング通貨は、タイやマレーシアなどが上昇（対米ドル）した一方、メキシコやコロンビアなどは下落しました。現地通貨建て債券市場を国別に見ると、メキシコやブラジルなどは下落しましたが、南アフリカやタイをはじめ多くが上昇する展開となりました。

債券市況の推移




【出所：ＪＰモルガン社】

（注）当ファンド基準価額への組入投資信託基準価額の反映を考慮して、作成期間を１営業日前にずらして作成しております。

### ■ 為替市場

南アフリカランドは対円で上昇しました。2024年６月月初にかけては、米国金利上昇や、５月の総選挙による政治・経済の不透明感の高まりから南アフリカランドは下落しました。７月上旬にかけては、選挙でＡＮＣ（アフリカ民族会議）は過半数割れとなりましたが、他の政党等が連立政権樹立で合意したことなどを受けて、南アフリカランドは上昇しました。７月中旬から８月月初にかけては、日銀当局による為替介入を巡る憶測が広がったことや７月の日銀の金融政策決定会合で利上げが実施されたことにより米ドルが対円で下落した影響を受け、南アフリカランドは下落しました。９月中旬にかけて横ばいで推移し、作成期末にかけては、連立政権による景気回復期待の高まりや、石破首相が日銀の追加利上げをけん制したと取れる発言を行ったこと、米国で複数の経済指標が市場予想を上回る強い結果となり米ドルが対円で上昇したことなどから、南アフリカランドは上昇しました。

対円為替レートの推移
南アフリカランド

（注）為替レートは、WMロイターが発表するロンドン時間午後４時のレートです。
（注）当ファンド基準価額への組入投資信託基準価額の反映を考慮して、作成期間を１営業日前にずらして作成しております。

### ■ 国内短期金融市場

国庫短期証券３ヵ月物利回りは、作成期首は0.04%、作成期末は0.07%となりました。作成期中においては、日銀による政策金利の引上げのほか、国庫短期証券の入札に伴う需給悪化懸念などが金利上昇要因となり、金融機関の担保需要などが金利低下要因となりました。

ＪＰモルガンＥＭＢＩグローバル・ディバーシファイド
指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利はＪＰモルガン社に帰属しております。ＪＰモルガン社は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。ＪＰモルガン社は指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

## 当該投資信託のポートフォリオ

### ■ 当ファンド

「エマージング・マーケット・デット・ファンド・クラスZAR（毎月分配型）」および「Ｔ＆Ｄマネープールマザーファンド」を主要投資対象として運用を行いました。作成期を通じて、「エマージング・マーケット・デット・ファンド・クラスZAR（毎月分配型）」を概ね高位に組入れ、「Ｔ＆Ｄマネープールマザーファンド」にも投資を行いました。

### ■ エマージング・マーケット・デット・ファンド・クラスZAR（毎月分配型）

ポートフォリオは米ドルベースでプラスの収益率となりました。南アフリカの現地通貨建て国債やアルゼンチンの米ドル建て国債の組入れなどがプラス要因となりました。

当作成期の主な投資行動では、ドミニカ共和国の米ドル建て国債の一部売却や、ウクライナの米ドル建て国債の全売却などを行いました。一方で、ルーマニアのユーロ建て国債や、オマーンの米ドル建て国債の追加購入などを行いました。

作成期末時点のポートフォリオにおいては、メキシコやブラジル、コロンビア、トルコなどが組入上位国となりました。

また、作成期を通じて、米ドル売り南アフリカランド買いの為替取引を行いました。

### ■ Ｔ＆Ｄマネープールマザーファンド

国庫短期証券を60%程度組入れました。残りの資産については、コール・ローン等で運用を行いました。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

## 分配金

１万口当たりの分配金（税込み）は、利子・配当等収益を中心に分配を行う方針のもと、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第174期から第179期まで各15円とさせていただきました。収益分配に充てなかった利益は、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

（単位：円・％、１万口当たり・税引前）

| 項目 | 第174期 | 第175期 | 第176期 | 第177期 | 第178期 | 第179期 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 2024年５月11日<br>～2024年６月10日 | 2024年６月11日<br>～2024年７月10日 | 2024年７月11日<br>～2024年８月13日 | 2024年８月14日<br>～2024年９月10日 | 2024年９月11日<br>～2024年10月10日 | 2024年10月11日<br>～2024年11月11日 |
| 当期分配金 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 |
| （対基準価額比率） | 0.581 | 0.540 | 0.584 | 0.588 | 0.556 | 0.545 |
| 当期の収益 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 | 15 |
| 当期の収益以外 | － | － | － | － | － | － |
| 翌期繰越分配対象額 | 4,641 | 4,646 | 4,647 | 4,650 | 4,654 | 4,657 |

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。
（注）投資信託の計理上、翌期繰越分配対象額が基準価額を上回っている場合がありますが、基準価額を超える分配金をお支払いすることはありません。

# 今後の運用方針

### ■ 当ファンド

「エマージング・マーケット・デット・ファンド・クラスZAR（毎月分配型）」および「Ｔ＆Ｄマネープールマザーファンド」を主要投資対象として運用を行います。

### ■ エマージング・マーケット・デット・ファンド・クラスZAR（毎月分配型）

エマージング諸国経済は、多くの国でインフレ圧力が弱まるなどファンダメンタルズは良好です。エマージング債券は、高い利回りや比較的健全なファンダメンタルズはプラス要因ですが、中国景気や米国金利、米ドルの動向に左右される展開になるとみられます。市場のリスク要因として、中東・ウクライナ情勢や米中対立といった地政学的な緊張、欧米景気の予想以上の悪化などが挙げられます。こうした投資環境下、個別国の政治・財政要因も注視しながら、ファンダメンタルズ重視の長期投資を推進していく方針です。また、引続き米ドル売り南アフリカランド買いの為替取引を行います。

### ■ Ｔ＆Ｄマネープールマザーファンド

日本経済は、雇用・所得環境が改善する下で緩やかな回復が続くことが期待されます。インフレ率については、プラス圏で推移していくと予想されます。こうしたなか、日銀は政策金利の引上げを行いましたが、依然として金融環境は緩和的であり、国内金利は低位で推移すると予想します。

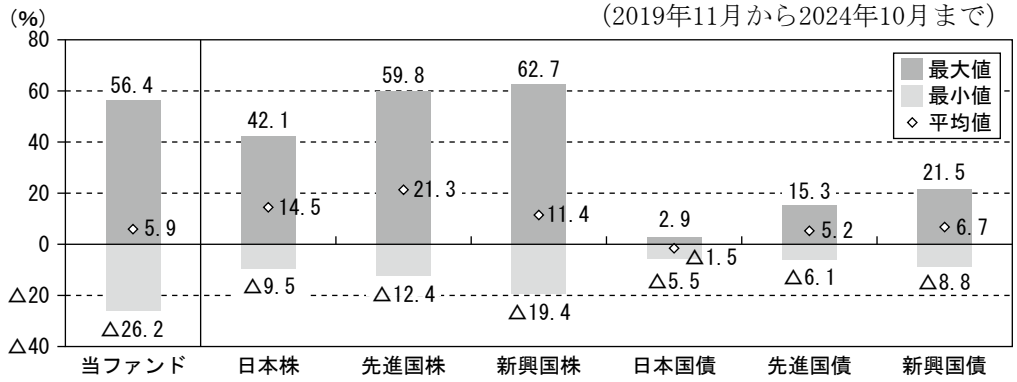
相対的に金利リスクの高い長期債への投資は見送り、国庫短期証券や短期金融商品等を中心とした安定的な運用を行います。

# 当該投資信託の概要

| | | |
|---|---|---|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／債券 | |
| 信託期間 | 2009年11月17日から2027年11月10日まで | |
| 運用方針 | 高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。 | |
| 主要運用対象 | 円建の外国投資信託である「エマージング・マーケット・デット・ファンド・クラスZAR（毎月分配型）」および親投資信託である「Ｔ＆Ｄマネープールマザーファンド」を主要投資対象とします。なお、短期金融商品等に直接投資する場合があります。 | |
| | エマージング・マーケット・デット・ファンド・クラスZAR（毎月分配型） | 米ドル建のエマージング債券を主要投資対象とし、インカムゲインの確保に加え、中長期的なキャピタルゲインの獲得を目指します。米ドル建資産に対して、原則として米ドル売り、南アフリカランド買いの為替取引を行います。 |
| | Ｔ＆Ｄマネープールマザーファンド | わが国の公社債および短期金融商品を主要投資対象とします。 |
| 組入制限 | 投資信託証券への投資割合には制限を設けません。<br>外貨建資産への直接投資は行いません。<br>株式への直接投資は行いません。 | |
| | エマージング・マーケット・デット・ファンド・クラスZAR（毎月分配型） | 有価証券の空売りは行いません。<br>現地通貨建エマージング債券への投資は、信託財産の20％程度の範囲内とします。この場合には、原則として当該現地通貨売り、米ドル買いの為替取引を行います。 |
| | Ｔ＆Ｄマネープールマザーファンド | 外貨建資産への投資は行いません。<br>株式への投資は行いません。 |
| 分配方針 | 分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として、利子・配当等収益を中心に安定分配（注）を行うことを目指します。ただし、基準価額水準等によっては、売買益（評価益を含みます。）が中心となる場合や安定分配とならない場合があります。また、５月および11月の決算時には、基準価額水準等を勘案し、上記安定分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。<br>（注）「原則として、利子・配当等収益を中心に安定分配を行う」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があることにご留意ください。 | |

【 参 考 情 報 】

## ■ 代表的な資産クラスとの騰落率の比較




(注) 上記は、2019年11月から2024年10月の５年間の各月末における直近１年間騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。
(注) 当ファンドおよび代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものであり、全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
(注) 騰落率は直近月末から60ヵ月遡って算出した結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。
(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

**○各資産クラスの指数**

日本株・・・・東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）（配当込み）※1
先進国株・・・ＭＳＣＩコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）※2
新興国株・・・ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）※3
日本国債・・・ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債※4
先進国債・・・ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）※5
新興国債・・・ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ディバーシファイド（円ベース）※6
(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

※1 東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）とは、株式会社ＪＰＸ総研が算出する株価指数で、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。ＴＯＰＩＸに関する一切の知的財産権その他一切の権利は株式会社ＪＰＸ総研に帰属します。
※2 ＭＳＣＩコクサイ・インデックスはＭＳＣＩが開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国の株式市場の動きを捉える指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はＭＳＣＩに帰属します。
※3 ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックスは、ＭＳＣＩが開発した新興国の株式市場の動きを捉える株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はＭＳＣＩに帰属します。
※4 ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表している指数で、日本で発行されている公募利付国債の市場全体を表す投資収益指数です。その知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、対象インデックスを用いて行われるＴ&Ｄアセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。
※5 ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。
※6 ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ディバーシファイドは、ＪＰモルガン社が算出し公表している、現地通貨建てのエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はＪＰモルガン社に帰属します。

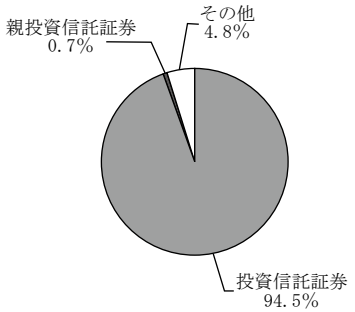
# 当該投資信託のデータ

## 当該ファンドの組入資産の内容

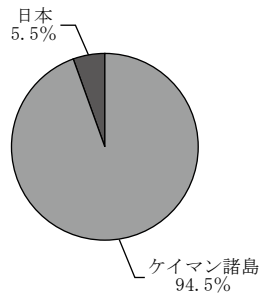
### ■ 組入（上位）ファンド（銘柄）

| 銘柄名 | 第179期末<br>2024年11月11日<br>比率 |
|---|---|
| エマージング・マーケット・デット・ファンド・クラスZAR（毎月分配型） | 94.5% |
| Ｔ＆Ｄマネープールマザーファンド | 0.7 |
| その他 | 4.8 |

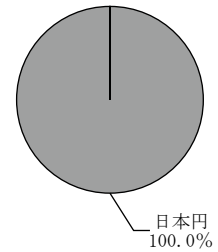
### ■ 資産別配分




### ■ 国別配分




### ■ 通貨別配分




（注）組入（上位）ファンド（銘柄）および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注）国別配分は発行国を表示しております。
※詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

## 純資産等

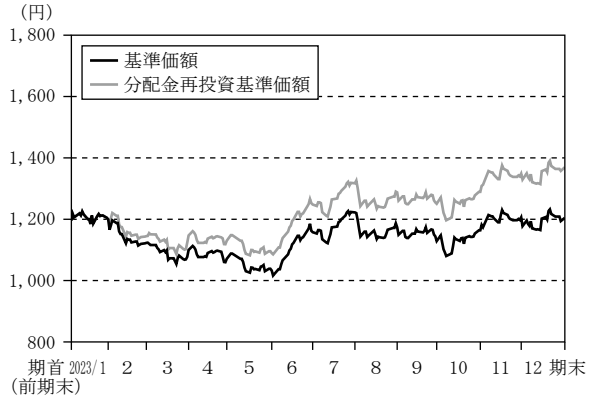
| 項目 | 第174期末 | 第175期末 | 第176期末 | 第177期末 | 第178期末 | 第179期末 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 2024年６月10日 | 2024年７月10日 | 2024年８月13日 | 2024年９月10日 | 2024年10月10日 | 2024年11月11日 |
| 純資産総額 | 79,443,541円 | 85,864,721円 | 79,565,786円 | 79,239,756円 | 84,230,659円 | 86,130,162円 |
| 受益権総口数 | 309,639,323口 | 310,659,671口 | 311,726,374口 | 312,762,114口 | 313,846,926口 | 314,841,165口 |
| １万口当たり基準価額 | 2,566円 | 2,764円 | 2,552円 | 2,534円 | 2,684円 | 2,736円 |

（注）当作成期間（第174期～第179期）中における追加設定元本額は6,200,030円、同解約元本額は０円です。

## 組入上位ファンドの概要

### エマージング・マーケット・デット・ファンド・クラスZAR（毎月分配型）（2023年１月１日から2023年12月31日まで）

### ■ 基準価額の推移




（注）分配金再投資基準価額は、期首（2022年12月31日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
（注）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

### 以下はエマージング・マーケット・デット・ファンドの状況です。

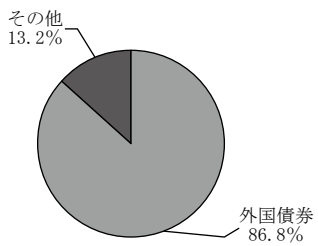
### ■ 上位10銘柄　（組入銘柄数：190銘柄）

| 銘柄名 | 国 | 通貨 | 比率 |
|---|---|---|---|
| Turkey Government Bond | トルコ | アメリカ・ドル | 2.0% |
| Oman Government Bond | オマーン | アメリカ・ドル | 1.6 |
| Honduras Government Bond | ホンジュラス | アメリカ・ドル | 1.6 |
| Dominican Republic Government Bond | ドミニカ共和国 | アメリカ・ドル | 1.5 |
| Qatar Government Bond | カタール | アメリカ・ドル | 1.5 |
| Costa Rica Government Bond | コスタリカ | アメリカ・ドル | 1.5 |
| Qatar Government Bond | カタール | アメリカ・ドル | 1.4 |
| Mexico Government Bond | メキシコ | アメリカ・ドル | 1.4 |
| Nigeria Government Bond | ナイジェリア | アメリカ・ドル | 1.4 |
| Kasikornbank PCL, FRN | タイ | アメリカ・ドル | 1.3 |

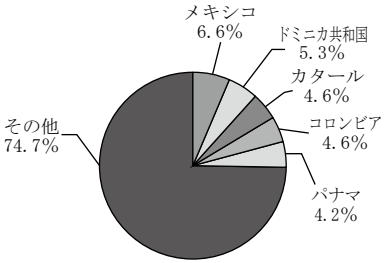
### ■ １口当たりの費用明細

１口当たりの費用明細に相当する情報がないため、開示することができません。

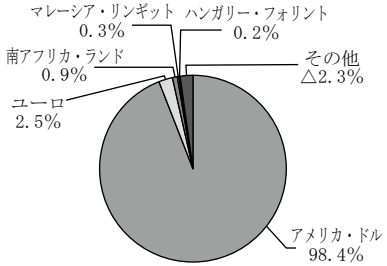
### ■ 資産別配分




### ■ 国別配分



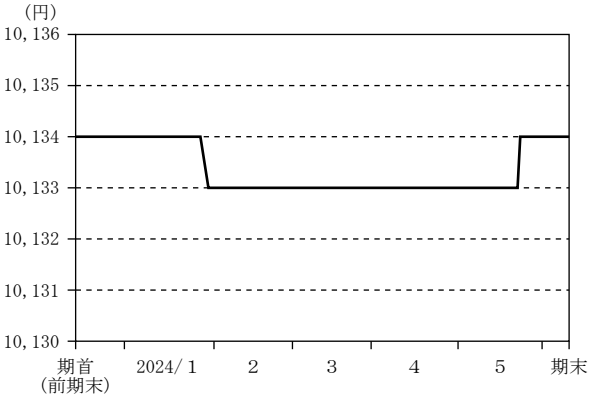

### ■ 通貨別配分




（注）組入銘柄および各配分のデータは直近の決算日現在のものです。日付は現地基準です。
（注）組入銘柄および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の比率です。
（注）通貨別配分のその他のマイナスは未払金等によるものです。
（注）組入銘柄および各配分の比率はＪＰモルガン証券株式会社より入手したデータをもとに作成しております。
※詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

## Ｔ＆Ｄマネープールマザーファンド　(2023年12月12日から2024年６月10日まで)

### ■ 基準価額の推移



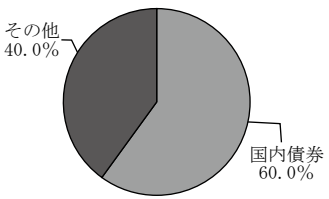

### ■ 組入銘柄　　(組入銘柄数：１銘柄)

| 銘柄名 | 種類 | 利率 | 償還日 | 比率 |
|---|---|---|---|---|
| 第1207回国庫短期証券 | 国債 | －% | 2025/1/20 | 60.0% |

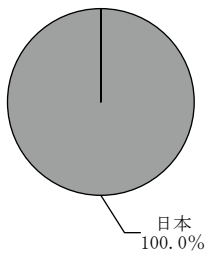
### ■ １万口当たりの費用明細

当期において発生した費用はありません。

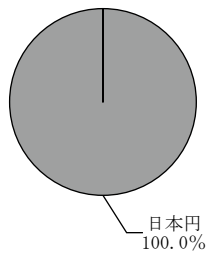
### ■ 資産別配分




### ■ 国別配分




### ■ 通貨別配分




(注) 組入銘柄および各配分のデータは直近の決算日現在のものです。
(注) 組入銘柄および各配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注) 国別配分は発行国を表示しております。
※詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。